

学校自己評価表

学校法人セムイ学園 東海医療工学専門学校

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

目次

基準1	教育理念・目的・育成人材像・・・1	基準7	学生の募集とれ受け入れ・・・7
基準2	学校運営・・・・・・・・・・2	基準8	財務・・・・・・・・・・8
基準3	教育活動・・・・・・・・・・3	基準9	法令等の遵守・・・・・・・・9
基準4	学修成果・・・・・・・・・・4	基準10	社会貢献・地域貢献・・・・10
基準5	学生支援・・・・・・・・・・5		
基準6	教育環境・・・・・・・・・・6		

基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目及び現状認識・評価等

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
1-1	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められ、実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	<p>《 教育理念 》</p> <p>人のいのちを守り、社会に貢献したいという強い信念を育てる</p> <p>《 育成人材像 》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全国の公的組織（消防・警察・海上保安庁・自衛隊）に求められる優秀な救急救命士 2. 救急救命士として必要な知識と技術を学ぶ上で必要となる、言葉や表現、社会に関する基礎的学力を有する者
1-2	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	<p>《 教育目標 》</p> <p>救急救命士は病院前救護活動に従事するのに際し、自らの社会的役割を認識しつつ、傷病者に対して適切に対応できるよう、基本的な能力を身につけること。</p> <p>また主な就職先である消防職員として国民の期待に応えていくために必要な努力を惜しまず、磨きをかけていく「自覚」を教育していく。</p>
1-3	理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	3	<p>東海医療工学専門学校 救急救命科における「3つのポリシー」として下記の内容を掲げ、幅広く周知している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針） 2. カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針） 3. アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）
[評価]	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切		

基準2 学校運営

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
2-1	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	整備されている。就業規則、賃金規程等の諸規定は、学内サーバーの共有フォルダに保存されており、教職員が閲覧可能となっている。
2-2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか	3	事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定されている。10月に事業計画の中間報告を行い、事業計画の進捗状況などについて報告と協議を行っている。
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	法人全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、意思決定を行っている。また、毎月経営会議を開催し、学校経営に係る事項や不定期に発生する重要事項について、意思決定がなされている。
2-4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	教育活動等の情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学園のホームページにおいて情報公開に取り組んでいる。
[評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			

根拠資料

- ・セムイ学園ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp>
- ・H31年度 セムイ学園 事業計画

基準3 教育活動

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
3-1	教育目標・育成人材像は明確になっているか	4	指定規則、指導要領、救急救命士教育施設協議会の教育方針に準じ、明確化している。
3-2	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	平成 29 年度より職業実践教育課程となる。愛知医科大学病院、岡崎市民病院より外部関係者による評価を実施している。
3-3	教育課程は、適切に編成されているか(体系性)	3	1 年次に基礎医学教育、2 年次に応用医学の教育カリキュラムを編成し、各教科の教育順序は内容を吟味し、理解度で決定している。
3-4	各科目はカリキュラムの中で適当な位置付けをされているか	3	厚生労働省指定カリキュラムに準じて教授している。
3-5	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	成績評価・単位認定は担当講師の評価を基本とし、進級判定会議・卒業判定会議で厳格、公正に判断している。
3-6	進級、卒業の基準は明確になっているか	4	上記同様。
3-7	教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	救急救命士教育施設協議会主催の教員研修会に参加し、その他にもスキルアップセミナーへの参加を奨励している。
3-8	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	年 2 回の学生からの授業アンケートを集計し、各科目にフィードバックしている。
3-9	授業評価が授業改善に活かされているか	3	週 1 回の教務会議及び年 2 回の講師会議を行い、授業評価を考慮して授業改善に努めている。
3-10	国家試験等の指導體制は確立されているか	4	指定規則、指導要領、救急救命士教育施設協議会の教育方針に準じ、明確化している。
[評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			

根拠となる規定、資料等：

基準4 学修成果

(1) 点検項目

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	救命士の主な就職先は消防官となるため、公務員試験対策、面接対策を実施している。また公務員採用試験の模擬試験(専門業者委託)を行っているが、近年、採用試験として導入されている「SPI試験」に対応するための準備不足も感じられた。【令和2年度改善】
4-2	中退率の低減が図られているか	3	常に学科教員、職員が会議によって、学生個々の状況を把握している。同時に学力低迷学生には補習講義を行い、定期的な学生への個人面談を行うことで問題点の明確化を図っている。 しかし「精神衛生上の事由」による退学者が存在し、事前のストレスチェックなどが円滑的でなく、問題視される以前の情報把握が不足していた。【令和2年度改善予定】 全体的には中退率は全国平均よりも低い状況である。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	国家試験の難易度は年々上昇し、必修問題も高度化している。そこで個別学習、土曜日の補習講義などを行うことで基礎学力の向上を図り、国家試験対策を推進している。しかし国家試験は全国平均レベルである。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

根拠となる規定、資料等：文部科学省における「学生の中途退学や休学等の状況について」の資料

基準5 学生支援

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	就職サポートセンターを主体とした指導を図り、公務員試験に対応するための補習講義を定期的実施している。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	3	年1回の保護者会を実施し、学生教育の実態を伝えている。 成績及び出欠に関する資料を定期的に郵送し、重要視すべき案件では、基本的に問題点及び今後の指導方針を個別連絡で行っている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	3	卒業後の就職支援はインターネット上における情報公開、国家試験は通信教育及び聴講生制度による不合格者への対応を行っている。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	問題点が明確化した段階で個別面談を行い、週1回の教務会議で教員同士による情報共有に努めている。
[評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			

基準6 教育環境

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
6-1	設備、機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	シミュレーション教育の資器材および冷暖房エアコンの新規設置を行い、学習環境の改善を図ることができた。
6-2	防災に対する体制は整備されているか	4	避難訓練は例年同様に問題なく行えた。 備蓄品の保管スペースの確保と、予算化を行い、緊急時の飲食料を1学年分確保した。備蓄充実を図っていく。
[評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			

基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目及び現状認識・評価等

番号	点検項目	評価	点検項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4	グループ校を含め過去3年間に入学実績のある高等学校を中心に288校を指定校とし、指定校推薦入試の案内を行うとともに在校生の状況、卒業生の進路等の報告を行った。 また、資料請求などのあった入学実績のない高等学校へも随時訪問し情報提供を行っている。
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	4	時代のニーズに沿った多様な入学試験を実施している。 ① A0入試は書類審査（エントリーシート）と個人面接により判定を行っている。 ② 学校推薦入試、指定校推薦入試、社会人入試、一般入試においては小論文の採点基準を設け明確化し、判定している。また、一般入試の学力試験は科目の選択が可能になっている。 入学試験の合否決済については、学科長より校長へ決裁書の申請を行っている。
7-3	学生募集において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率、就職（内定）率などの情報はホームページやパンフレット等で情報提供を行っている。
7-4	学生納付金は妥当なものとなっているか	5	近郊の競合校と比較してやや低めの設定となっている。

[評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

上記点検項目の根拠となるもの

- ・令和元年度情報提供実施高等学校一覧
- ・学校案内、入学生募集要項 ・ホームページ

基準8 財務

点検項目及び現状認識・評価等

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	中長期を狙い財務安定基盤の確立の為、借入負債の軽減を図っている。新規の借入はおこなっていない。単年度の黒字化を維持している。
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	4	予算に対する執行状況については半期ごとにチェックし大きく乖離する項目については協議の上、補正予算を行なっている。
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	公認会計士の往査を年間延べ日数20日間を受け財務状況のチェックを受けている。期末には監事、会計監査を受けている。
[評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切			

根拠資料

- ・令和1年度 事業活動収支計算書

基準9 法令等の遵守

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	救急救命士養成所養成施設自己点検表に基づき点検し、改善をしている。内部監査は本校職員の監査員4名と行政書士1名(学外者)で、6月と11月に教学に関する事項を重点的に行った。監査結果は理事会で報告し、学校全体で問題点の共有、対応策を協議共有し、コンプライアンスの徹底を図っている。
9-2	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	建学の理念・目的、教育および管理・運営内容の全般について、自己点検・評価を実施し、学校関係者評価結果を踏まえて改善を図っている。
9-3	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	情報機器について学内で使用する個人PCについては届出制度の徹底、USBについては外部からの持ち込み制限をかけている。個人情報に対する教育の徹底を図っている。
[評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切			

根拠資料

・令和元年度 事業報告書

基準10 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	愛知県教育委員会主催ボランティア CPR 講習、医療機関における集団災害トレーニング等の社会貢献を行っている。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	いびがわマラソン競技活動時における救護支援、愛知県医師会主催メディカルラリーなどのボランティア活動支援を行っている。
[評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切			